

平成29年10月18日

平成29年度学校評価（前期）を振り返って

京都市立洛央小学校
校長 森江里子

学校評価にご協力ありがとうございました。

平成29年度学校評価（前期）の集計結果をお知らせします。
今年度も保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）をアンケート形式でご協力いただき、保護者の皆様には全児童数の98%のご回答をいただきました。ありがとうございました。

保護者の皆様からいただきました評価の総ての内容一つひとつにつきましては、全教職員が目を通させていただきました。学校といたしましては集計結果を真摯に受け止め、教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。



「4」そう思う 「3」大体そう思う 「2」あまりそう思わない 「1」そう思わない

①子どもに基礎・基本となる学力がついていると思われますか。（保護者）

先生は、わかりやすく教えてくれますか（児童）

児童に基礎・基本となる学力がつくよう指導していますか。（教職員）

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 30%	「4」 73%	「4」 87%	「4」 55%
「3」 61%	「3」 21%	「3」 11%	「3」 45%
「2」 8%	「2」 4%	「2」 1%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 2%	「1」 1%	「1」 0%

高学年児童も低学年児童も『「4」そう思う』との回答が昨年度（平成28年度前期との比較…以下同じ）よりも更に増加し、『「3」大体そう思う』と合わせると90%を超える児童が「わかった」と実感できているという結果となりました。また、保護者の方も教職員も同じく90%を超える結果となりました。

この好結果が今後も持続できるように、日々の子どもたちの学びを細かく観察、そして適切に評価し、常に指導の改善を図り続けていきたいと考えています。

また『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』との回答も真摯に受け止め、指導力向上のための校内研修を行う等、今後も組織的な指導力向上に向けて努力していく考えています。



⑥子どもはノートに美しく、正しい字を書こうとしていると思われますか。(保護者)

いつもノートに美しく、正しい字を書くように心がけていますか(児童)

児童に、いつもノートに美しく、正しい字を書くよう指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 30%	「4」 37%	「4」 44%	「4」 53%
「3」 40%	「3」 37%	「3」 32%	「3」 47%
「2」 25%	「2」 21%	「2」 18%	「2」 0%
「1」 5%	「1」 5%	「1」 6%	「1」 0%

昨年度とよく似た結果となっていますが、高学年児童も低学年児童も『「4」そう思う』との回答が昨年度より増加する結果となりました。

しかし、『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』との回答も多く見られます。教職員も指導の徹底を図っているところですが、引き続き、自分で振り返ったり、正しく美しい字を書くことの大切さを伝えたりしていきたいと考えています。お家でも、宿題をしている時などに励ましの言葉をかけていただければうれしいです。

⑦子どもが最後まで粘り強く学習するよう指導ができる正在思われますか。(保護者)

わからないことはそのままにしないで、わかるまで努力していますか(児童)

児童に最後まで粘り強く学習するよう指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 21%	「4」 43%	「4」 60%	「4」 21%
「3」 61%	「3」 38%	「3」 31%	「3」 79%
「2」 16%	「2」 16%	「2」 7%	「2」 0%
「1」 2%	「1」 3%	「1」 2%	「1」 0%

高学年児童も低学年児童も『「4」そう思う』との回答が昨年度より増加するうれしい結果となりました。『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』との回答も減少していますが、一人一人が、あきらめずに学びに向かっていけるような授業の工夫を一層図っていきたいと考えています。設問①とも合わせ、指導の改善を図り続けていきたいと考えています。

⑩子どもは将来の夢をもって学校生活を送っていると思われますか。(保護者)

将来の夢をもっていますか。(つきたい職業だけでなく〇〇な人になりたい、でもよい)(児童)

児童が自分の将来の夢をもって学校生活が送れるよう指導・支援していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 31%	「4」 79%	「4」 83%	「4」 33%
「3」 38%	「3」 12%	「3」 9%	「3」 67%
「2」 26%	「2」 4%	「2」 3%	「2」 0%
「1」 5%	「1」 5%	「1」 5%	「1」 0%

将来の夢について高学年児童・低学年児童とも『「4」そう思う』『「3」大体そう思う』を合わせると90%を超える非常に多くの子どもが将来の夢をもっている結果となりました。本校では学校教育目標の目指す子ども像に「大きな希望を胸に抱く子」を掲げ、昨年度はキャリア教育の全国発表の会場校として研究を深めました。保護者の方と教職員が力を合わせ、生活のあらゆる場面で児童が自分の夢を持ち、将来展望に繋げていけるような働きかけを積極的に進めてきたからではないかと思います。

⑪「たてわり活動」で子どもに助け合いの意識が養われていると思われますか。(保護者)

「たてわり活動」では、他学年の人と助け合って活動していますか。(児童)

児童が「たてわり活動」で助け合って活動できるよう指導していますか。(教職員)

保護者

児童（高学年）

児童（低学年）

教職員

「4」 40%

「4」 61%

「4」 48%

「4」 46%

「3」 53%

「3」 33%

「3」 36%

「3」 54%

「2」 6%

「2」 4%

「2」 11%

「2」 0%

「1」 1%

「1」 2%

「1」 5%

「1」 0%

保護者の方には昨年同様、好評価をいただき、うれしい結果となりました。

学校では今年度より休み時間に体育館を開放し、たてわりグループごとに長縄で遊べる機会を設けました。その結果、活動の中心となる高学年児童の『「4」そう思う』との回答がぐんと増加、『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』を回答する児童が一桁に減少しました。

「たてわり活動」は異学年集団で協力し合い活動することで仲間意識を育てること、一人ひとりの児童が学校の一員としての自分の役割を果たしていこうとする自覚を高めることを目的として実施しています。今後も続けていきたい取り組みの一つです。



⑫子どもはあいさつを自分から言っていると思われますか。(保護者)

あいさつは自分から言っていますか。(児童)

児童が、あいさつは自分から言えるよう指導していますか。(教職員)

保護者

児童（高学年）

児童（低学年）

教職員

「4」 27%

「4」 54%

「4」 67%

「4」 46%

「3」 50%

「3」 36%

「3」 26%

「3」 54%

「2」 20%

「2」 8%

「2」 4%

「2」 0%

「1」 3%

「1」 2%

「1」 3%

「1」 0%

高学年児童・低学年児童とも90%の児童が自分から進んであいさつができるていると感じています。

学校では昨年度に引き続き、児童会の子どもたちが毎朝の登校時に玄関に立ち、「おはようございます」と大きな声であいさつしています。そして、元気にあいさつを返してくれる子が多い学年を「あいさつマイスター」として発表しています。さらに様々な取組をすすめ、いつでも、どこでも自分からあいさつができる子どもを育てていきたいと考えています。



⑭子どもはよくない誘いを受けたら、はっきりと断れていると思われますか。(保護者)

よくない誘いを受けたら、はっきりと断っていますか(児童)

児童がよくない誘いを受けたら、はっきりと断る勇気の大切さを指導していますか。(教職員)

保護者

児童（高学年）

児童（低学年）

教職員

「4」 23%

「4」 64%

「4」 76%

「4」 59%

「3」 62%

「3」 31%

「3」 17%

「3」 41%

「2」 14%

「2」 4%

「2」 4%

「2」 0%

「1」 1%

「1」 1%

「1」 3%

「1」 0%

よくない誘いを断る勇気を持っている児童が年々増加しています。児童の回りには危険がたくさんあります。よくない誘いを断る勇気、正しい判断をする力などを付けられるようさらに指導を充実させていきたいと考えています。また、子どもたちの小さな変化を見逃さないよう学校と家庭とが連携して子どもたちを見守っていきたいと考えています。

⑯子どもに得意なことや良い点に気付くようはたらきかけをしていますか。(保護者)

自分の得意なことや良い点に気付いていますか。(児童)

児童が自分の得意なことや良い点に気付けるよう支援・指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 24%	「4」 50%	「4」 71%	「4」 54%
「3」 68%	「3」 33%	「3」 18%	「3」 46%
「2」 7%	「2」 11%	「2」 9%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 6%	「1」 2%	「1」 0%

自己肯定感を持っているかどうかの設問ですが、『「4」そう思う』と回答した高学年児童が昨年度の27%から50%に、低学年児童が45%から71%に増加し、大変うれしい結果となりましたが、全ての児童が『「4」そう思う』との回答ができるように、児童の優れた点を認めたり、伸ばしたりし、自分を前向きにとらえられるようにしていきたいと考えています。

◆自由記述欄について

自由記述欄を設け、各家庭でのきまりとなぜ、そのきまりがあるのかをお尋ねしました。その中のいくつかをご紹介しますので、参考にしていただければと思います。

- ・家に帰ったら、まず宿題をする。 ・兄弟全員が宿題を終わるまで、テレビをつけない。
- ・宿題ややるべきことが終わるまで、テレビをつけない。 ・食事中はテレビをつけない。
- ・あいさつは自分からする。 ・あいさつは大きな声です。
- ・平日はゲームをしない。 ・ゲームをする時は、「○時まで」と宣言してから始める。
- ・パソコンを使うときは、家人と一緒に使う。 ・スマホは与えない。
- ・家族の一員として、家事を分担する。 ・自分が使った食器は、キッチンまで運ぶ。
- ・相手の立場に立って考える。 ・相手の良いところを見る。 ・人の悪口を言わない。
- ・わからないことをそのままにしない。
- ・出かけるときは、誰と何をしにどこへ行くのか、何時に帰るのかを言ってから出かける。
- ・人はひとりでは何もできない。人と話すときは、相手のことを大事に思って話す。
- ・一日のできごと（よかつたことも悪かったことも…）を家族に話す。
- ・読書をする。 ・姿勢を正す。
- ・面倒だと思うことを先にする。 ・言われる前に行動する。
- ・言われたことを言われたときにさっさとする。 ・見通しをもって行動する。
- ・優先順位を考えて行動する。 ・有言実行。 ・週単位でスケジュールを決め、行動する。
- ・一度きめたことは、最後まで頑張る。 ・落ち着いて物事を進める。
- ・自分の行動に責任を持つ。 ・けじめをつける。 ・「だって」「でも」を言いすぎない。
- ・親も子も約束は必ず守る。 ・うそをつかない。 ・隠し事をしない。
- ・自分でできることは自分でする。 ・家族が困っていたら助ける。
- ・悪いことをした時や約束が守れなかった時などは、きちんと謝る。